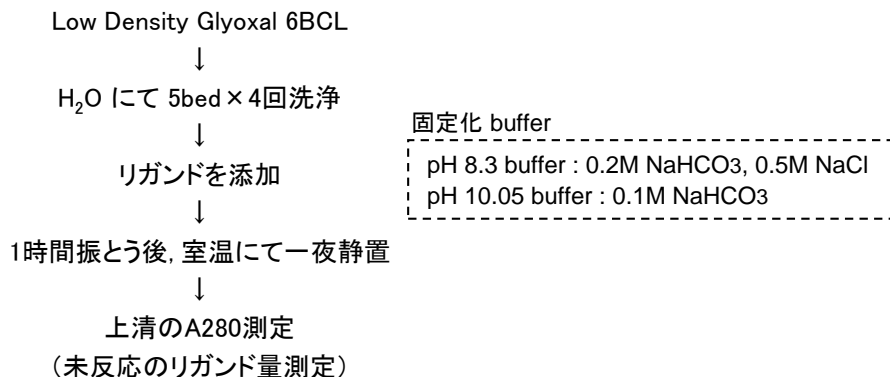


Glyoxal レジン固定化に対する pH の効果 〈Glyoxal 6BCL-GL0〉

1. 固定化手順

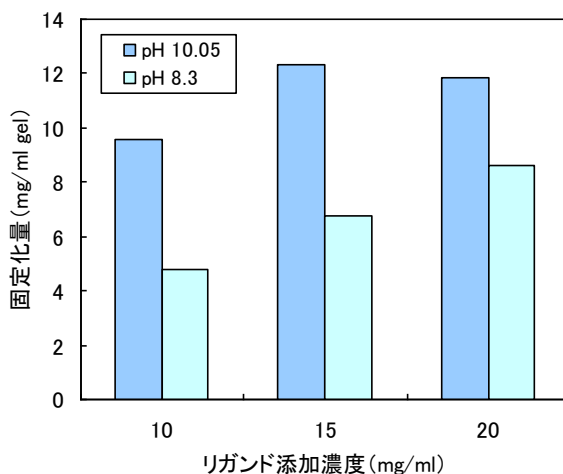


2. 結果

2種類の pH での固定化反応におけるリガンド添加量と固定化量

	リガンド		
	10 mg/mL	15 mg/mL	20 mg/mL
pH 8.3 (mg/ml gel)	4.8 (48%)	6.8 (45%)	8.6 (43%)
pH 10.05 (mg/ml gel)	9.6 (96%)	12.3 (82%)	11.9 (60%)

異なった pH での固定化量の比較



Low Density Glyoxal 6BCL を使って異なった pH 条件でのリガンドの固定化反応効率を評価した。各サンプルのリガンド固定化量は、反応前と反応後上清の280 nm の吸光度差から簡単に求めることができた。いずれのpHにおいても添加リガンド濃度に依存して固定化量が増加した。濃度が10 mg/mL の場合では、pH 10.05 ではほぼすべてのリガンドが固定化されたが、pH 8.3 では固定化率は約50%であった。リガンドがアルカリで安定であれば、高 pH での固定化が好ましいが、立体障害の可能性を考慮してリガンドの活性値で最終判断するほうがよい。

プロテノバ株式会社

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1

TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703

ホームページ <http://protenova.com>